



鈴鹿市立明生小学校

# 明生の旗高く

◀ 学校教育目標 ▶  
地域とともに  
明るく元気に生きる  
明生の子

## ■ 第12回「定五郎物語」作文コンクール授賞式

2月15日(日)に牧田コミュニティセンターで『定五郎物語』作文コンクール」の授賞式がありました。

四年生が社会科の学習で郷土の偉人として学習する前川定五郎翁について、前川定五郎顕彰会の方に出前授業を実施していただいた後に感想文を書き、コンクールに応募したものです。四年1組の光原 愛さんが鈴鹿市教育長賞を受賞され、教育長から賞状等を授与されたのち、対象になった作文を朗読しました。光原さんの作文は定五郎翁の「人の喜びは我が喜び」ということばに焦点を当てた内容でした。



## ■ おやじの会主催の六年生を送る会



さまざまな行事でお世話をしていただいた「おやじの会」による六年生を送る会が22日に開催されました。

初めは「紙飛行機飛ばし大会」でした。試作・試し飛行の時間もあり、思い思いに試作を重ねていました。遠くまで飛ばすことよりも参加者同士で意見を言い合いながら試作をしたことに意味があると感じました。



次が「戦闘中」でした。体育館で跳び箱や段ボールで自分たちの陣地を作り、ビニールのボールを使って相手陣地の的を破り合う、というゲームでした。たくさんの大きな段ボールを使い障害物を作りました。ここでも参加者同士の助け合い・協力が必要となりました。体育館全体を使ったダイナミックな活動ができたのも「おや

じ」の力だと実感しました。

六年生の卒業を祝うという熱い気持ちと、活動を楽しむ子どもたちの熱気で身も心も温まる時間となりました。

## ■ 六年生を送る会

26日に五年生の運営で「六年生を送る会」が開催されました。この日までに各学年で六年生へのプレゼントや体育館壁面の飾りを作ったり、学年の発表の練習をしたりしてきました。残念ながら二年生の一クラスが学級閉鎖となったため、二年生の発表は後日となりました。

一・二年生からのプレゼントのメダルと冠を身に着けた六年生が一人ひとりの紹介を受けながら入場しました。一年生の発表はお世話になった六年生のすごいところを劇風に発表しました。三年生はニュース番組仕立てで六年生へのインタビューをしました。四年生はテレビ番組の「格付けチェック」のように六年生にクイズを出していました。五年生は、六年生とのクイズ勝負でした。難読の漢字などがあり、見ていた私も読めない単語がありました。結果は引き分けで延長問題も出したのですが、再度引き分けになりました。全ての学年が同時の歌のプレゼントもしました。

六年生からは在校生へのお礼としての歌のプレゼントがありました。最後に全校児童が「世界に一つだけの花」の歌を手話を交えて合唱しました。

六年生からは学校をきれいにするために家庭科の時間で作った雑巾が贈られました。

六年生への感謝と祝福の気持ちが伝わる各学年の発表でした。

二年生は3月5日に六年生への発表をしました。



一年生



二年生



三年生



四年生



五年生



六年生